

キャッチアップ接種をご存じですか？

～子宮頸がんの原因となるHPV感染をワクチン接種で予防！～

日本では毎年、約1.1万人の女性が子宮頸がんにかかり、約2,900人が亡くなっています。罹患率は20歳代から増え始め、30歳代までにがんの治療で子宮を失ってしまう人も1年間に約1,000人います。

HPV（ヒトパピローマウイルス）ワクチンは、子宮頸がんの原因となるウイルス感染を防ぐ予防接種です。

現在、小学校6年から高校1年相当の女性を対象とした定期接種の他、この時期に接種機会を逃した対象年齢の女性に対し「キャッチアップ接種」の機会が設けられています。

キャッチアップ接種は、令和7年3月末まで無料で受けられますが、3回の接種が必要で、完了までに約6か月間かかるため、1回目の接種を令和6年9月までに受ける必要があります（期限を過ぎると3回接種で自己負担は最大約10万円！）。

接種対象者やご家族が正しい情報を得て接種を検討できるよう、県ホームページで動画発信もしています。ぜひご覧ください。

※接種の対象かどうか不明の方は、お住まいの市町村の担当部署へご確認ください。

HPVワクチンを知っていますか？



“HPV”=ヒトパピローマウイルスとは…



HPVは女性の多くが“一生に一度は感染する”といわれるウイルスです



HPV感染が原因で若い方でも子宮頸がんになることがあります



HPV感染はワクチン接種で予防できます

対象年齢の方は無料(公費)で接種できます

定期接種



小学校6年～高校1年相当の女性

1回目の定期接種は遅くとも高校1年相当の9月末までに受けましょう

キャッチアップ接種

※令和7年3月末まで



平成9年4月2日～平成20年4月1日生まれの女性

1回目の接種は遅くとも令和6年9月末までに受けましょう

子宮頸がんの早期発見のため、定期的に検診を受けましょう。

新潟県福祉保健部感染症対策・薬務課 Tel.025-280-5200

詳しくはコチラから

